

# AMANO REPORT

第99期 第2四半期

## 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



### Contents

株主の皆様へ	1
トップインタビュー	2
新中期経営計画	3
事業概況	4
連結財務諸表（要旨）	5
トピックス	7
ネットワーク	9
会社概要	10
株式の状況・株主メモ	

TIME & ECOLOGY  
**AMANO**

証券コード 6436

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来「人と時間」「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足におき、全ての社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画において、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦－規模の拡大と成長ドライブの構築－」を経営コンセプトに掲げ、新市場開拓や新規事業構築などに取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力し、原価低減、販管費抑制にも努めてまいりましたが、当中間期の連結業績は、売上高については増収となったものの、利益については残念ながら減益となりました。

中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、期初予定通り1株当たり15円とさせていただきます。

下期の経営環境につきましては、わが国経済は、日銀が追加の金融緩和を実施する中、政府の経済対策が下支えし企業の設備投資も増加基調にあるものの、個人消費持ち直しの弱さや原材料価格の動向が及ぼす影響など、景気に不透明感が残るものと考えられます。

このような経営環境の中で、新中期経営計画1年目の目標達成に向け、当社およびグループ各社が一丸となって経営計画を着実に実行するとともに、更なる経営基盤の強化・拡大を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



代表取締役社長 中島 泉

## 財務ハイライト (連結)

■ 中間期 (第2四半期) ■ 通期



## 第99期第2四半期中間報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。

### Q1 当中間期の連結業績の概要についてお聞かせください。

**A1** 当中間期におけるわが国経済は、先進国を中心に海外経済が緩やかに回復する中、企業収益の改善傾向を背景に設備投資が持ち直しつつあるものの、輸出が足踏みし、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響から個人消費も伸び悩んでおり、景気の不透明な状況が続いているものとみられます。

このような状況下、2015年3月期第2四半期連結売上は、493億85百万円（前年同期比6.4%増）となりました。事業部門別では、情報システムは、国内は企業の情報関連投資の増加基調を背景に需要が拡大し増収、海外は為替の影響もあり増収となったことから、全体では前年同期比2.9%増収となりました。パーキングシステムは、国内はシステム物件の受注増加、運営受託事業も堅調に推移し増収、海外は為替の影響もあり増収、全体では前年同期比6.5%の増収となりました。環境システムは国内は汎用機・大型システムともに受注が拡大し増収、海外は中国市場は減収となったもののアジア市場全体では増収となり、全体では前年同期比8.0%増収となりました。

利益につきましては、個別業績は人件費や研究開発費の増加を増収によりカバーできず減益となりました。連結業績は、北米においては新製品投入の遅れや競争激化に伴う原価率上

昇などにより営業損失となり、また、当第2四半期に予定していた欧州グループ会社売却に伴う特別利益の計上が来期にずれこむ見込みのため、営業利益は23億59百万円（前年同期比23.8%減）、経常利益は27億12百万円（前年同期比20.2%減）、四半期純利益は14億22百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

### Q2 2015年3月期の通期業績予想についてお聞かせください。

**A2** 当中間期の業績および足元の業績動向を踏まえ、平成26年5月8日に公表した業績予想を修正いたしました。国内では、情報システム、パーキングシステム、環境システムともに、国内の景気回復を背景として堅調に推移することが見込まれ、受注残も順調に積み上がっていることから、個別業績を変更することなく、一層の売上拡大を目指してまいります。

海外では、北米はアマノマクギャン社の新製品投入も進み、提案活動強化により受注促進に注力してまいります。また、欧州・アジアグループ会社の業績は増収増益が見込まれるものの、欧州グループ会社売却に伴う特別利益の計上が来期にずれこむ見込みのため、連結の当期純利益は修正いたしましたが、連結売上高1,100億円、営業利益91億円の達成に邁進してまいります。



## Q3 新中期経営計画の進捗状況について お聞かせください。

**A3** 今年4月に策定した新中期3ヵ年計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦－規模の拡大と成長ドライブの構築－」を経営コンセプトとして掲げてスタートいたしました。

現在、国内外グループ会社との連携により、新市場開拓や新規事業構築に取り組んでおります。新市場開拓については、3月に事業を譲り受けた木材床研磨機器事業の売上拡大、ケミカル製品とのセット販売強化により、米国におけるグリーンシステムの業容拡大に取り組んでおります。また、韓国及びタイにおいて展開しているLEDビジネスは受注が拡大しており、韓国ではネットショップを介した提案活動の強化など、更なる受注拡大を図ってまいります。

次に新規事業構築は、財務会計市場へ参入するべく、4月に専門部隊を設け、株式会社クレオとの連携を強化いたしました。中堅・大規模企業向け市場での就業・人事・給与・会計のトータルソリューション提案により情報システムの売上拡大を目指してまいります。また、昨年より開始しておりますネットビジネスやメンタルヘルスケアシステムの更なる取り組み強化も推進してまいります。今後も新規事業の立ち上げ、新市場開拓やアライアンス戦略を通じて、一層の業容拡大を図ってまいります。

## 基本方針

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトとして掲げ、次の4つの重要課題に取り組んでまいります。

- (1) 企業規模の拡大
- (2) 経営効率の向上
- (3) 連結経営の強化
- (4) コーポレートガバナンスの進化



## 数値計画

本計画の最終年度である平成29年3月期に売上高1,300億円以上、営業利益130億円以上の業績達成を目指してまいります。

(単位：百万円)

	平成27年3月期 (修正後)		平成28年3月期		平成29年3月期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	110,000	7.7%	119,000	8.2%	130,000	9.2%
営業利益	9,100	3.1%	10,900	19.8%	13,000	19.3%
営業利益率	8.3%	—	9.2%	—	10.0%	—
経常利益	9,700	2.9%	11,600	19.6%	13,600	17.2%
当期純利益	5,500	3.8%	6,900	25.5%	8,300	20.3%

## 情報システム

売上高

10,750 百万円  
(前期比2.9% ↑)



国内の実績は、前年同期に比べ、ハードウェアは6.6%増収、ソフトウェアは4.8%減収、メンテ・サプライは3.6%増収となりました。ハードウェアの増収は、大型物件受注および入室システムの増加によるもので、ソフトウェアの減収は、WindowsXPの買い換え需要や消費税増税前の駆け込み需要反動の影響によるものです。

海外の実績は、北米のアキュタイムシステムズ社は減収、欧州のホロススマート社は為替の影響もあり増収となり、海外全体では2.8%増収となりました。

## 環境システム

売上高

8,732 百万円  
(前期比8.0% ↑)



国内の実績は、前年同期に比べ、汎用機は9.9%増収、大型システムは11.4%増収、メンテ・サプライは0.3%増収となりました。

海外の実績は、アジア市場を中心に日系企業の設備投資が堅調に推移し増収、海外全体では15.7%増収となりました。

## 時間管理機器

売上高

1,957 百万円  
(前期比2.1% ↑)



国内の実績は、前年同期に比べ、標準機等が国内・輸出ともに伸長し、全体では3.4%増収となりました。

海外の実績は、アジアでは低調も北米、欧州の増収により、海外全体では5.3%増収となりました。

## クリーンシステム

売上高

4,392 百万円  
(前期比14.5% ↑)



国内の実績は、前年同期に比べ、清掃機器は5.9%減収、メンテ・サプライは1.5%減収となりました。

海外の実績は、北米は事業を譲受けた木材床研磨機器事業が寄与し増収、海外全体では60.2%増収となりました。

## パーキングシステム

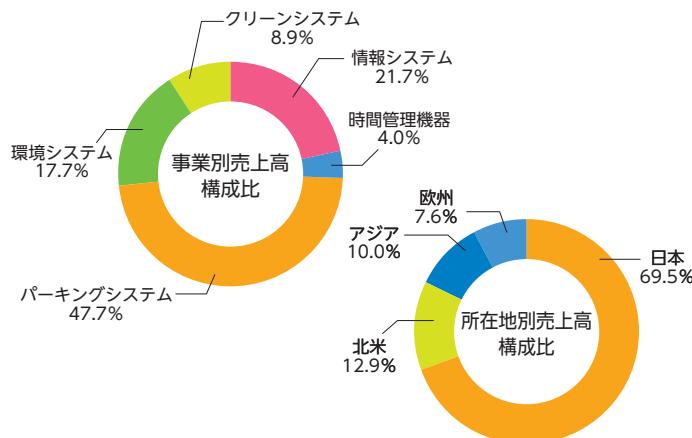
売上高

23,551 百万円  
(前期比6.5% ↑)



国内の実績は、前年同期に比べ、駐車場機器は7.4%増収、メンテ・サプライは2.9%減収となりました。また、グループ会社アmanoマネジメントサービス株式会社による運営受託事業は順調に拡大しており、受託車数は前期末比5.7%増加いたしました。

海外の実績は、北米のアmanoマクキャン社は減収、欧州はアジア・オセアニア地域での受注拡大により増収、アジア地域では韓国は為替の影響もあり増収となり、海外全体では11.5%増収となりました。



## 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

### Point ① 流動資産

受取手形及び売掛金  
41億1百万円減少  
その他（仮払消費税等）  
12億55百万円増加

### Point ② 固定資産

事業譲受けに伴うのれん等  
20億51百万円増加

#### 資産の部

	第98期 (H26.3.31)	第99期 (H26.9.30)
① 流動資産	74,771	72,609
② 固定資産	48,066	48,184
有形固定資産	24,244	23,882
無形固定資産	10,355	11,625
投資その他の資産	13,465	12,676
資産合計	122,838	120,793

#### 負債の部

	第98期 (H26.3.31)	第99期 (H26.9.30)
③ 流動負債	28,976	28,404
④ 固定負債	10,378	8,371
負債合計	39,355	36,776
純資産の部		
株主資本	86,778	87,900
その他の包括利益累計額	△3,718	△4,325
少数株主持分	422	441
⑤ 純資産合計	83,482	84,017
負債純資産合計	122,838	120,793

### Point ⑥ 売上高

パーキングシステム及び環境システムを中心に伸長し、売上高は前年同期比6.4%の増収となりました。

### Point ⑦ 営業利益

アマノ単体の販売費及び一般管理費増加を増収でカバーできず、また北米が営業損失となり、営業利益は同23.8%の減益となりました。

### Point ⑧ 経常利益

営業減益の影響により、経常利益は同20.2%の減益となりました。

## 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	第98期 (H25.4.1~ H25.9.30)	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)
⑥ 売上高	46,399	49,385
売上原価	25,887	27,892
売上総利益	20,512	21,492
販売費及び一般管理費	17,413	19,132
⑦ 営業利益	3,098	2,359
営業外収益	370	408
営業外費用	67	54
⑧ 経常利益	3,401	2,712

	第98期 (H25.4.1~ H25.9.30)	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)
特別利益	11	2
特別損失	30	40
税金等調整前 四半期純利益	3,381	2,674
法人税等	1,439	1,189
少数株主損益調整前 四半期純利益	1,941	1,484
少数株主利益	48	62
⑨ 四半期純利益	1,893	1,422

### Point ③ 流動負債

未払法人税等  
14億52百万円減少  
支払手形及び買掛金  
3億6百万円減少  
その他（仮受消費税等）  
15億74百万円増加

### Point ④ 固定負債

退職給付に係る負債  
17億16百万円減少

### Point ⑤ 純資産

株主資本  
11億22百万円増加  
為替換算調整勘定  
7億97百万円減少

### Point ⑨ 四半期純利益

経常減益の影響により、四半期純利益は同24.9%の減益となりました。

### Point ⑩ 営業CF

売上債権の減少額  
37億99百万円  
税金等調整前四半期純利益  
26億74百万円

### Point ⑪ 投資CF

事業譲受による支出  
20億44百万円  
有形固定資産の取得による支出  
10億12百万円

### Point ⑫ 財務CF

配当金の支払額  
13億2百万円  
ファイナンス・リース債務の返済による支出  
8億51百万円

## 第2四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	第98期 (H25.4.1~ H25.9.30)	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,941	1,484
その他の包括利益合計	2,315	△625
その他有価証券評価差額金	205	137
為替換算調整勘定	2,089	△805
退職給付に係る調整額	—	50
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△7
四半期包括利益	4,257	859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,174	814
少数株主に係る四半期包括利益	82	44

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第98期 (H25.4.1~ H25.9.30)	第99期 (H26.4.1~ H26.9.30)
⑩ 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,345	4,636
⑪ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,894	△4,866
⑫ 財務活動によるキャッシュ・フロー	313	△1,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	453	△142
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,217	△2,058
現金及び現金同等物の期首残高	26,587	31,674
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	102
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,805	29,718

## 1. 情報システム

### 情報システム事業の業容を拡大 財務会計市場に参入！

2014年4月より中堅（Middle High）市場において、就業・給与・人事システムに加え、新たに会計システムの販売を開始しました。取り扱う会計システムは、2013年3月に資本参加したクレオ社の「ZeeM会計」を採用しております。「ZeeM会計」は、中堅市場において、多くの企業に採用いただき、顧客満足度も高いシステムです。今後、クレオ社との連携を一層強化し、就業管理から人事給与・会計までをトータルに提案できる「ミニERPベンダー」としてのベース構築を進めてまいります。

また、2013年4月より販売を開始している「ZeeM人事給与」は、アマノの就業システム「TimePro-VG」とのシームレスな連携も実現しており、就業・給与・人事の3in1提案を積極的に進めております。クレオ社との相互販売及びコンサルティング営業の強化を図り、更なる市場拡大に取り組んでまいります。

就業情報システム  
TimePro-VG

会計システム  
ZeeM



人事給与システム  
ZeeM



# Information Systems

## 2. パーキングシステム

### 商業施設向け新割引サービス POSレジ連携の「割引認証機」新発売！

ショッピングセンターなどの商業施設向けに、買い物金額に応じた駐車料金の割引認証が行える新方式の割引認証機「AR-800」を2014年7月に発売しました。

「AR-800」は、店舗のPOSレジで発行されたレシートに印刷されたバーコードを読み取ることにより、買い物金額に応じた割引を行うことができます。レシートが複数枚ある場合には、それぞれのバーコードを続けて読み取ることで合計金額に応じた割引が可能となります。従来の認証機はサービスカウンターや各テナントに設置が必要でしたが、「AR-800」は設置場所をエレベータホールに集約するなど、設置台数の削減により導入コストが低減でき、各テナントの買い物実績に応じた割引利用明細も容易に把握できるようになりました。

これからも、様々な製品・サービスの提案により、駐車場利用者の利便性向上に関するニーズにお応えしてまいります。



AR-800



# Parking Systems

### 3. 環境システム

#### 海外進出する日系企業向け オイルミストコレクターの販売が拡大！

国内製造業の生産拠点の海外シフトは、中国・東南アジアに加え、北米・中南米へと拡大する中、国内発も含めた海外案件は増加傾向にあり、各種工作機械にオイルミストコレクターをセットしてご使用いただくなど、汎用集塵機の販売が拡大しています。今後も、スマートフォン市場における新たな需要等、更なる受注拡大が見込まれます。また、空気輸送等の大型システム案件も着実に増加しています。

国内営業本部（全国支店・営業所）や商品事業部、海外現地法人との連携を、より一層強化し、海外進出する日系企業に限らず、現地のローカル企業に対する受注活動も積極的に展開するとともに、サプライ品やメンテナンスなどのアフターフォローも含めたトータル提案により、海外市場の更なる拡大を図ってまいります。



## Environmental Systems

### 4. クリーンシステム

#### クリーン機器のラインナップ拡充 清掃場所・用途に合わせた新商品投入！

2014年4月、コンビニエンスストアや小型スーパーなどの小規模店舗向けに自動床面洗浄機「SE-380H」を新発売しました。近年の中食志向の高まりに合わせて、小規模店舗でも惣菜や弁当を充実させ、店内にイートインコーナーを設置する店舗が増え、フライヤー等による店内調理器による油污れも増える傾向にあります。「SE-380H」は、誰にでも使いやすい操作性を実現し、日常的な洗浄により、手軽に店舗の美観を維持することができます。

また、7月には、小型スーパー「CW-400TN」を新発売しました。「CW-400TN」は、コンパクトなボディで壁際まで清掃が可能なおうえ、高速回転ブラシでクリップピンや微粉塵まで回収できることから、オフィスのビルタイルカーペット日常清掃用として、大好評をいただいています。

これからも、安心・安全・使いやすさを合わせた製品ラインナップをご提供し、お客様のニーズに確実に応えてまいります。



SE-380H



CW-400TN

## Cleaning Systems

# Global Network



## ● TOPICS ● 欧州発のグローバル・パーキングシステム「Xparc」 アジア・オセアニア市場での受注が拡大！

「Xparc」は、AMANO Europe社で開発したバーコード・チケット方式のパーキングシステムです。当初、欧州市場をターゲットとして開発された商品ではありますが、近年では、アジア・オセアニアにおいても実績を上げており、販売先は25カ国に拡大しています。今後もさらなる拡販に努め、グローバルベースでのパーキング事業基盤の強化・拡充を図ってまいります。



マレーシア設置例



香港設置例

# Domestic Network

## 支店・営業所

東北・北海道営業本部 札幌／盛岡／秋田／仙台／山形／郡山  
 関東営業本部 大宮／宇都宮／高崎／水戸／埼玉  
 東京営業本部 東京／品川／新宿／西東京／錦糸町／千葉／柏  
 信越営業本部 長野／新潟／長岡／諏訪  
 神奈川・静岡営業本部 神奈川／横浜／厚木／藤沢／沼津／静岡／浜松  
 中部営業本部 名古屋／豊田／豊橋／四日市／岐阜  
 北陸営業本部 金沢／富山  
 近畿営業本部 大阪／京都／神戸／東大阪／堺／姫路  
 中国・四国営業本部 広島／岡山／松江／山口／高松／松山／高知  
 九州営業本部 福岡／北九州／長崎／熊本／鹿児島／沖縄

## 国内グループ会社

アマノ マネジメントサービス株式会社  
 アマノ メンテナンス エンジニアリング株式会社  
 アマノ ビジネスソリューションズ株式会社  
 株式会社環境衛生研究所  
 アマノ 武蔵電機株式会社  
 株式会社アマノエージェンシー

## 生産拠点

相模原事業所  
 細江事業所

社名 アマノ株式会社 AMANO Corporation  
 本社所在地 〒222-8558  
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地  
 TEL 045-401-1441 (代表)  
 FAX 045-439-1120  
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>  
 創業 1931年(昭和6年)11月3日  
 設立 1945年(昭和20年)11月22日  
 資本金 182億3,958万円(平成26年9月30日現在)  
 従業員数 連結 4,366名 単独 2,002名(平成26年9月30日現在)  
 営業品目 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

## 役員

- 情報システム事業
- パーキングシステム事業
- 環境システム事業
- クリーンシステム事業
- アウトソーシング事業
- 時刻配信・認証サービス事業

代表取締役 会長	春 田	薫 泉
代表取締役 社長	中 山	島 治
代表取締役 専務	山 口	山 彦
取締役 兼 常務執行役員	小 山	石 稔
取締役 兼 常務執行役員	白 石	野 弘
取締役 兼 常務執行役員	上 野	崎 亨
取締役 兼 執行役員	寺 崎	功 毅
取締役 兼 執行役員	赤 岸	剛 勲
取締役 (社外取締役)	藤 原	直 樹
常勤 監査役	中 田	佳 志
常勤 監査役	佐 藤	長 秀
監査役 (社外監査役)	今 野	野 正
監査役 (社外監査役)	小 堀	川 健
常務執行役員	野 川	文 邦
常務執行役員	井 原	子 弘
常務執行役員	金 米	澤 男
執行役員	井 金	米 実
執行役員	米 澤	谷 博
執行役員	笹 谷	保 龍
執行役員	新 森	田 正
執行役員	田 田	明 真

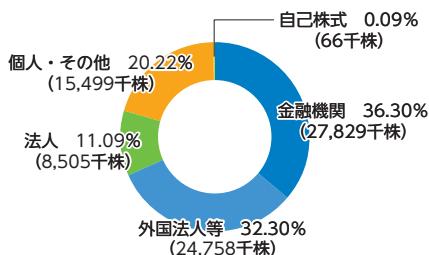
※取締役岸 勲氏は社外取締役です。

※監査役佐藤 佳志、糸長 丈秀の両氏は社外監査役です。

## 株式情報 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	185,476,000株
発行済株式の総数	76,657,829株
株主数	15,205名

## ■所有者別株式分布状況



## 株主メモ Memo

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金	毎年3月31日
支払基準日	
中間配当金	毎年9月30日
支払基準日	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120)232-711(通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
Northern Trust Co. (AVFC) Re Silchester International Investors International Value Equity	5,183	6.76
第一生命保険株式会社	4,000	5.22
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー	2,979	3.89
リユーエス タックス エグゼクティブ ペンション ファンド	2,651	3.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,548	3.32
東京海上日動火災保険株式会社	2,100	2.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,100	2.74
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)	2,003	2.61
アカウントノントリーター		

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.amano.co.jp/>



**アマノ株式会社**

本社/〒222-8558  
横浜市港北区大豆戸町275番地  
TEL. (045) 401-1441 (代表)  
FAX. (045) 439-1120

